



いのちと平和と子どもたち

こであまた おうね

2020.9.15
No.30-2

川口ぞうれっしゃ合唱団

短い夏休みが終わり、二学期が始まりましたね。子どもたちは、どんな学校生活を送っているのでしょうか？ 残暑が厳しい中、マスクをつけている生活は本当に大変だと思います。大人も子どもも、小まめに水分をとって、暑くてボーッとするような時には絶対に我慢しないで、冷たい水で顔を洗うとか、涼しい部屋で休むなどしてください。手や顔を洗うことは、コロナ対策にも、熱中症の予防にも効果的だそうですね。

こんな風に、コロナやら、熱中症やら、みんなが本当におそろしている最中、わが国のリーダーは、持病悪化で退場するそうです。川口ぞうが大切にしてきたものの一つ「命」に関わることでありますから、お大事にしてくださいませ。まあ、せめて退く前に、すべての人が何の心配もなく、必要な検査や治療を受けられ、安心してらせる体制をつくってほしかったなあとも思いますが…。

さて、先月お届けした「こあ」No.30-1号に対して、たくさんの方からお便りをいただきました。ありがとうございます。とても嬉しいです。前回同様、いくつか無記名で紹介させていただきます。この鬱陶しいコロナとの生活に負けないためにも、仲間との連携、コミュニケーションが、これまで以上に必要とされています。みんなで集まることはできませんが、この「こあ」やホームページを通じて、繋がりが合っていくことができれば、と願っています。面白かったこと、腹が立ったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、どんなことでも気軽にお知らせくださいね。

スタッフサイドからも、いろいろな形で情報を発信していきたいと考えています。早速、酒井さんから、ほのぼのとしたビデオレターが寄せられていますよ（閲覧方法は別紙）。ぜひご覧くださいね。

今回メッセージ欄に登場するのは、軍人役で、お楽しみ盛り上げ係のこの人です。それでは、しばやん、ど～ぞ！！



麦 4才

颯太15才



ほんとうは動物を愛する平和主義者です

『しばやん』こと柴山哲也です。「動物を殺せ！」と園長に迫る怖い軍人を、雨にも負けず風にも負けず、突然の停電や腹痛にも負けず演じ続けて30年。人生のほぼ半分を、川口ぞうれっしゃ合唱団と共に歩んできました。

昨年3月に38年間の教員生活にピリオドを打ち、今はポケットを空にして、ギターを抱えたスナフキンよろしく地図のない旅を満喫中。というセカンドライフを思い描いていたのですが、あちらこちらからの断り切れない依頼を受けているうちに、結構多忙な日々……こんなはずじゃあなかったんだけどなあ。

そんな日々の中に、ライフワークともいえるぞうれっしゃの活動がないことは、心のどこかに穴が空いているような感じです。すでに半年以上に及び自粛生活、さらにいつ終わるとも知れないコロナ禍の下のストレスは、人々の心に澱のように積り、社会全体を蝕んでいます。子どもたちの柔らかな心に穴を空けることのないように、大人たちは何をすべきなのか。閉塞感に満ちた今だからこそ、権力を笑い飛ばす慧眼と遊び心、息苦しさを感じさせない、ゆる～くもしなやかで強靱な繋がりが必要だと強く思います。